

江戸時代 文化・文政期の日蘭交流

シーボルトと日本の植物

日時 3月8日(土) 13時~15時(12時開場)

場所 獨協大学 天野貞祐記念館大講堂

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通 東武スカイツリーライン「松原団地駅」西口徒歩5分
*車での来校はご注意ください

受講 無料 定員500人 当日先着順 事前申込不要

共催 草加市



花象



伊藤圭介標本帖



"Flora Japonica" Tab.1 シキミ

京都大学理学研究科生物科学図書室所蔵



ネコヤナギのタイプ標本



タイセイのタイプ標本



伊藤圭介のコシダの標本



シーボルトの銅像 (ドイツ ビュルツブルク市)

講義概要

文政6年(1823)に来日し文政11年(1828)まで長崎出島に滞在していたシーボルト(1796-1866)は実はオランダ人ではなく南ドイツ生まれのドイツ人でした。医師として、来日しましたが、在日中は医師としての仕事より、「日本」のさまざまな事象を貪欲に蒐集することに情熱を傾けました。その成果は「フロラ ヤポニカ」(日本植物誌)、「ファウナ ヤポニカ」(日本動物誌)、「日本」にまとめられています。これらの復刻本は獨協大学図書館にも所蔵されております。演者はこの二十余年間にオランダのライデンにある国立植物学標本館、ミュンヘンのバイエルン州立博物館、首都大学東京の牧野標本館、東京大学博物館などで彼の膨大な植物蒐集品を調査しておりますが、これらの標本を覗くごとに植物を通しての日蘭ひいては日欧の確かな文化交流を実感いたします。その中から興味深い標本をご紹介します。

講師紹介 加藤 僖重(かとう のぶしげ)

獨協大学名誉教授
東京都立大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)
牧野標本館客員研究教授、日本植物学会会員、日本植物分類学会会員、洋学史学会会員、伊藤圭介文書研究会会員、(公社)日本植物友の会理事、牧野植物同好会顧問など
著書に「牧野標本館所蔵のシーボルトコレクション」2003年思文閣出版、「シーボルトが蒐集したシダ標本」2010年思文閣出版、「新・シーボルト研究」自然科学・医学篇2003年八坂書房(共著)、「小野蘭山」2010年八坂書房、「宇田川榕菴植物学資料の研究」2014年吉雨書屋(共著)など



獨協大学オープンカレッジ特別講座 獨協大学エクステンションセンター ☎048-946-1678 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1